

# ぎふかれん

No.67 2021年7月発行

発行 NPO 法人 岐阜県精神保健福祉会連合会

☎500-8385 岐阜市下奈良 2-2-1 岐阜県福祉・農業会館 3階

TEL/FAX 058-271-8169 HP <https://gifu-karen.jimdo.com/>



## 理事長あいさつ

理事長 服部 信子

新緑が眩しい季節になりましたが、新型コロナウイルス変異株の収束が見通せません。

みなさん、お元気ですか。コロナのワクチン接種の予約は出来ましたか？

昨年度は「ぎふかれんのあゆみ」を発行しました。前理事長・山田偉雄氏のご尽力と、関係者の皆様のご協力で、まとめることが出来ました。発刊・送付が3月末になってしまい、内容の検証が不十分な部分があると思いますが、「ぎふかれん誌」を何度も読み直し作成しました。我々家族会としては上出来と自画自賛しております。家族会設立、作業所設立、法整備など、精神障害の福祉向上の流れが分かります。家族会の先輩方の活動に感謝いたします。

さて、県大会を6月に計画していましたが、コロナ拡大の為、岐阜県からの要請で9月12日(日)に延期になりました。お申込みいただきました方々にはご迷惑をおかけしました。

第38回「知ってもらいたい心の病」講演会を7月18日(日)郡上市で、第39回「知ってもらいたい心の病」講演会を10月10日(日)岐南町で計画しています。広い会場でコロナ対策をして行います。事前予約の上、ご参加よろしく申し上げます。

孤立した家族を無くす、家族会を知ってもらう目的で「家族による家族学習会」を行います。今年は10月・11月に中濃わかば会主催で計画しています。

全国精神保健福祉会連合会は、「精神科医療への提言」を出したり、要求活動をしています。

電話相談(火・木・金)と面接相談を行っています。面接相談用の部屋がリニューアルされ広くなりました。みなさん、気軽におしゃべりしに来て下さい!!

## ぎふかれん新体制

- |                          |                        |
|--------------------------|------------------------|
| ●理事長 服部信子 (岐阜市あけぼの会)     | ●理事 石田吉保 (岐阜市あけぼの会)    |
| ●副理事長 野々時雄 (西濃圏域)        | ●理事 井上俊子 (たんぽぽの会・各務原市) |
| ●副理事長 久保敏雄 (かけはし西岐阜)     | ●理事 安藤勝子 (いこい会・池田町)    |
| ●副理事長 田中利正 (中濃わかば会・関市)   | ●理事 久保田正司 (ハウス希望・養老町)  |
| ●副理事長 江崎道春 (東濃さつき会・多治見市) | ●理事 臼田浄圓 (郡上つくしの会)     |
| ●副理事長 大下恵子 (青葉の会・高山市)    | ●監事 高見正春 (岐阜あけぼの会)     |
| ●理事 柘植昭和 (東濃やまなみ会・中津川市)  | ●監事 川島愉美 (中濃わかば会)      |
| ●理事 熊谷久子 (岐阜市あけぼの会)      |                        |



この機関紙は、岐阜県共同募金会のご寄付で作成いたしました

# 令和3年度 岐阜県精神保健医療福祉政策（岐阜県健康福祉部 保健医療課）

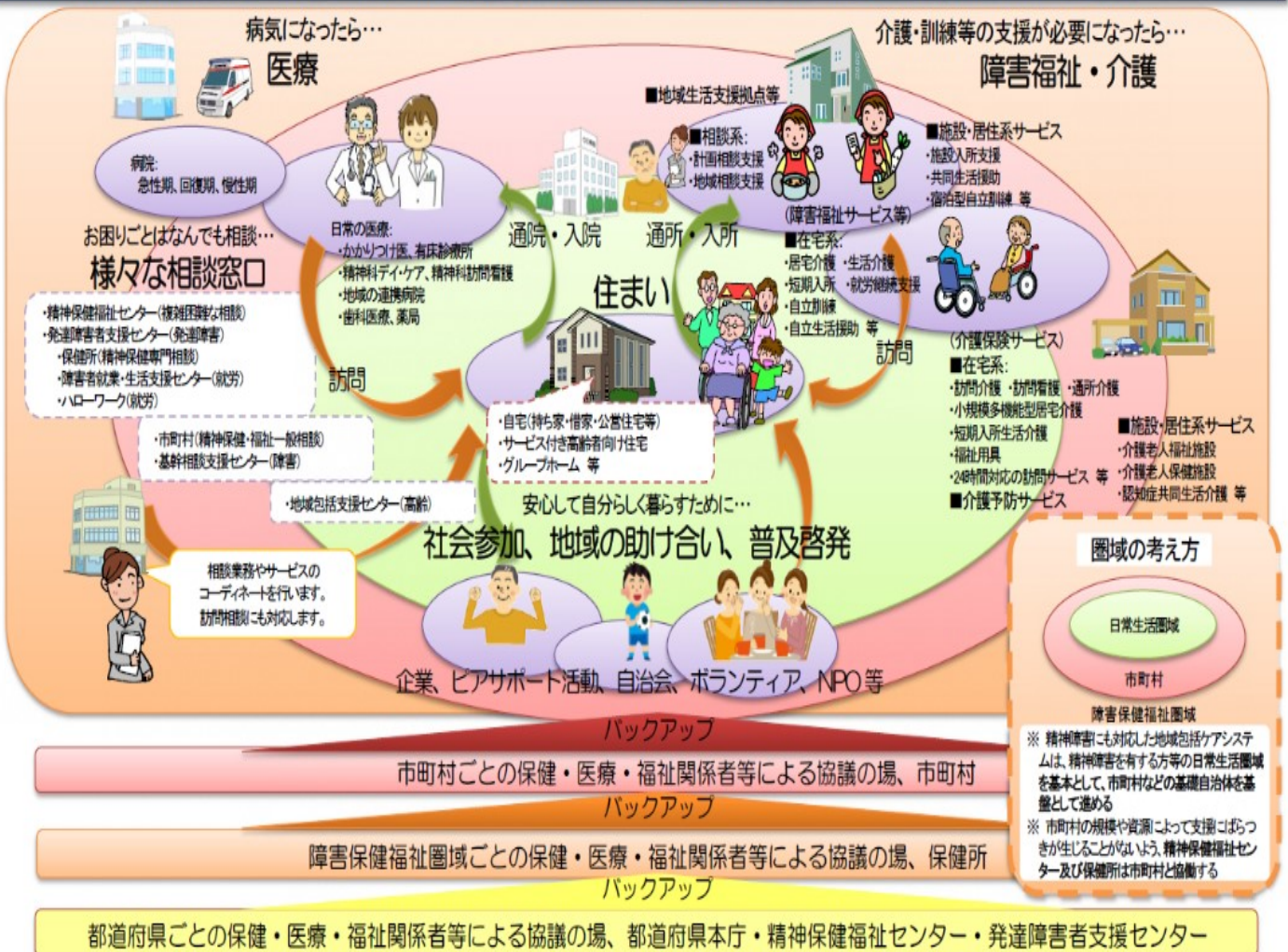
## 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについて

近年、精神疾患は、脳血管疾患や糖尿病を上回るなど増加傾向にあり、私達にとって身近な疾患となっています。こうした中、国においては、平成16年9月に策定された「精神保健医療福祉の改革ビジョン」の中で、「入院医療中心から地域生活中心」という理念が明確にされ、さらに平成29年2月には「これからの精神保健医療福祉のあり方に関する検討会報告書」において、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の理念が示されたことを踏まえ、自治体などにおいて各種施策に位置付け、取組みの推進を図っています。

「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」とは、精神障害の有無や程度にかかわらず、誰もが地域の一員として安心して自分らしい暮らしをすることができるよう、医療、障害福祉・介護、住まい、社会参加、就労、地域の助け合い、教育が包括的に確保されたシステムのことで、重層的な連携による支援体制を構築することが必要です。

## 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築（イメージ）

- 精神障害の有無や程度にかかわらず、誰もが安心して自分らしく暮らすことができるよう、医療、障害福祉・介護、住まい、社会参加（就労など）、地域の助け合い、普及啓発（教育など）が包括的に確保された精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築を目指す必要があり、同システムは地域共生社会の実現に向かっていく上では欠かせないものである。
- このような精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築にあたっては、計画的に地域の基盤を整備するとともに、市町村や障害福祉・介護事業者が、精神障害の有無や程度によらず地域生活に関する相談に対応できるように、市町村ごとの保健・医療・福祉関係者等による協議の場を通じて、精神科医療機関、その他の医療機関、地域援助事業者、当事者・ピアサポーター、家族、居住支援関係者などとの重層的な連携による支援体制を構築していくことが必要。





こうした経緯から、岐阜県では、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」の構築を図るために、令和2年度末までに全ての障害福祉圏域に保健・医療・福祉関係者による協議の場を設置し、精神科医療機関、その他の医療機関、地域事業者、市町村等の重層的な連携による包括的支援の提供体制整備に向けた取組みを始めております。この協議の場には、当事者の方やピアサポーター、ご家族の更なる参画が期待されております。

また、各圏域における課題の抽出や、県全体で取り組むべき事項などを協議するため、令和3年度に、県レベルでの協議の場として岐阜県障がい者総合支援懇話会に「精神障がい地域包括ケア推進部会」を新たに設置する準備を進めております。県としては、今後、精神障害の有無や程度にかかわらず、誰もが安心して自分らしく暮らすことができるよう地域での新たな支援システム構築に向けて取組みを一層進めてまいります。

## イベントのご案内

### ● 『第38回知ってもらいたい心の病』講演会

日時：令和3年7月18日（日）13:30～16:00

場所：郡上市総合文化センター 文化ホール

郡上市八幡町島谷207-1

テーマ：「きょうだい」・家族の苦悩を知ってください

シネマログ（映画＝シネマ+対話＝ダイアログ）

上映：『ふたり～あなたという光～』（40分）

ダイアログ（対話）：「きょうだい」の方々

コーディネーター：浅野 雅彦 氏（精神保健福祉士）

### ● 『第39回知ってもらいたい心の病』講演会

日時：令和3年10月10日（日）13:30～16:00

場所：岐南町中央公民館 講堂

羽島郡岐南町八剣7丁目107番地

演題：「今を生き、そして未来に生きる」

コーディネーター：浅野 雅彦 氏（精神保健福祉士）

当事者の発表 ・地域生活支援センターすいせい

・くらぶハウスゆうせん

### ● 『第41回岐阜県精神保健福祉・家族大会』

日時：令和3年9月12日（日）13:30～16:00

場所：岐阜市市橋コミュニティセンター 大集会室

テーマ：「当事者・家族のリカバリー」

・当事者の発表（4名）

・「ぎふかれん」の活動報告

・功労者表彰 今村 辰司さま・大下 恵子さま

久保田 正司さま・宮下 俊夫さま

事前申込み・マスク着用・家での検温など、ご協力お願いいたします。

新型コロナウイルス感染状況によっては、予定が変更になるかもしれません。ご了承ください

## 令和2年度事業報告

### 「家族による家族のための電話相談」継続事業

毎週 火曜日・木曜日・金曜日（祝祭日休み）AM10：00～PM3：00

岐阜県精神保健福祉会連合会事務局 電話相談 271件

メール相談 14件 面接相談 15件

### 「精神保健福祉啓発事業」

#### \*第36回「知ってもらいたい心の病」講演会（参加者80名）

日時：令和2年9月26日（土）13：30～16：00

場所：セラトピア土岐

演題：「精神疾患の診断と対応～統合失調症・発達障害～」

講師：深尾 琢 医師（岐阜大学附属病院精神科医）

#### \*第37回「知ってもらいたい心の病」講演会（参加者80名）

日時：令和2年10月3日（土）13：30～16：00

場所：瑞穂市総合センター

演題：「障害と共に生きる～持続可能な社会に向けて～」

講師：神山 忠 氏（発達障害当事者・元自衛官・教員）

#### \*岐阜県精神保健福祉研修会（参加者79名）

日時：令和3年1月11日（月・祝）13：30～16：00

場所：バロー文化ホール（多治見市文化会館）

演題：「オープンダイアログを目指した取り組み～病院から地域へ～」

講師：村上 純一 医師（琵琶湖病院精神科医）・山中 一紗 氏（同精神保健福祉士）

#### \*『第13回全国精神保健福祉家族大会 みんなねっと宮崎県大会』

コロナ感染拡大に伴い中止

#### \*『令和2年度 甲州・東海ブロック 精神保健福祉促進研修会 in 静岡』

コロナ感染拡大に伴い、令和3年度に延期

#### \*機関誌「ぎふかれん」誌の発行 年2回発行（7月・1月）

#### \*2020年度「あゆみ」発行 3月発行

#### \*みんなねっと「家族による家族学習会」

セミナー 10月28日（水）ハートフルスクエアG 44名（講師4名）

担当者養成研修会 11月30日（月）ハートフルスクエアG 16名（講師4名）

担当者修了証取得者12名

事前準備会（2回）1月30・31日 ハートフルスクエアG 担当者5名

家族学習会（5回）2月7・14・21日 3月7・14日 南部コミュニティセンター

岐阜市あけぼの会主催 参加者8名・担当者5名（アドバイザー1名）

## 令和2年度決算報告

収入		支出	
円		円	
会費	323,000	事業費	1,653,182
(家族会費)	283,000	(ブロック大会)	0 (次年度へ延期)
(賛助会費)	40,000	(講演会など)	458,409 「心の病」など
		(機関紙の発行)	205,145 「ぎふかれん誌」「あゆみ」
		(他団体交流)	40,000 大会分担金など
		(電話相談)	949,628
助成金等	1,779,000	管理費	1,157,988
(県委託金)*	1,270,000	(事務所費)	277,502 事務所賃貸料
(共同募金)	100,000	(給料等)	456,315 給料
(助成金)※	409,000	(旅費・交通費)	146,380 事務員通勤費、理事会
		(通信・運搬費)	72,657 電話・郵送料など
		(消耗品費)	75,627 PC用紙、プリンター
		(印刷・製本費)	105,384 北°-機°リット料
		(負担金)	17,000
寄付金	400,000	(租税公課)	3,400 収入印紙
雑収入	169,854	(雑費)	3,723 振込手数料・両替
前年度繰越	748,547	残金	609,231
合計	3,420,401	合計	3,420,401

※ 助成金 : 岐阜新聞・中日新聞・保健福祉協会・イオンなどから。

\* 県委託金 : 精神保健福祉啓発事業 36.5万円、電話相談事業 90.5万円

## 「令和2年度岐阜県精神保健福祉研修会」報告

日時：令和3年1月11日・バロー文化ホール（多治見市文化会館）

演題：『オープンダイアログを目指した取り組み ～病院から地域へ～』

講師：医療法人明和会 琵琶湖病院 地域移行ユニット

村上 純一さん 精神科医・山中 一紗さん 精神保健福祉士（PSW）

### 講演内容

村上医師と山中さんの対話方式で講演会は進行しました。村上医師は主治医の立場から、山中さんは精神保健福祉士として患者側の立場からという設定です。

琵琶湖病院は、大津市の比叡山の麓、琵琶湖を望む高台にあります。

村上医師は、「日本独特な長期入院や頻回入院となる方がまだまだ沢山おられる、重い病気だから長くなるのは仕方がないのか」と、主治医としてずっと悩んできました。国が地域移行を推進しているのに、ちゃんと診てきたか？先ず長い目で考える、医療スタッフと話し合ったか、ご本人・家族の声をきちんと聞いてきたか、皆さんと繋がっていたかを問いました。

山中さんは、2016年から当病院に移り、働き方に悩みながら、当事者・ご家族に、しっかりと自立生活支援などを話す事で繋がりが出来たと感じました。

病院では、2011年頃から地域のアウトリーチの訪問診療を始めました。途中で受診を中断した人などに、こちらから出向いて診る、生活などを一緒に考える取り組みをしてきました。院内では強制力がありますが、地域では、そのような強制力はもちろん通用せず、当事者の在り方に寄り添う態度がまず大切であることに気づきました。私達支援者は、当事者やご家族の持つ力が生かされ、自立した社会生活が出来ることを重視して、関わることを学びました。

2015年頃から当事者参加型のケース会議をはじめました。これまでのケース会議は、ご本人のいない所で開かれ、専門家同士で決めたことを、ご本人・ご家族に提案する方法でした。最初から、当事者やご家族も参加して頂き、意見交換し、リハビリ退院を目指しました。とても有意義でしたが、しばしば結論ありきで専門家の意向を説得するなど、難しさを感じていました。そのような中でオープンダイアログに出会い、その後村上医師は発祥の地、フィンランドのケロプタス病院を視察し、琵琶湖病院での治療ミーティングの試みに繋がりました。

治療ミーティングでは、互いの価値観を大切にしながら、会話を促進していきます。全員にとっての新しい理解を築き上げ、当事者やご家族のニーズに合わせた計画を協働で立てます。ご本人・家族・病院職員だけでなく、必要ならば、保健所・警察・友人も参加します。心理療法を大切に、「幻覚」や「妄想」を、当事者にとって大切な意味を含むものとして丁寧に耳を傾けていきます。これらには当事者やご家族にとって「トラウマ」である、繊細な背景や感情が含まれることが多いからです。薬物療法については押し付けることはありません。ミーティングを重ねる事で、意思疎通ができ、信頼関係も出来、人間関係も良くなる。時に葛藤が表面化することもあります。目標が確かな形になれば、理解が出来、問題を一つ一つ話す事によって社会的な是非の判断ができ、地域で生活ができるのです。

職員は、当事者と家族が入ったミーティングで、真剣に取り組む姿勢を共有しています。安心感から、いつの間にか症状に見えていたことが解消していきます。「ご本人の事をご本人のいない所では決めません。」を基本理念に、回復と地域の生活を繋ぐ為に、柔軟に迅速に動きます。急用時は、24時間以内にご当人と連絡・行動します。

山中さんをご自宅などを2人以上で訪問することもあり、コロナ禍なのでオンラインのミーティングもします。悩み事などを共有する事で元気になり、「会える時が楽しみになる。」と言われます。

救急搬送されれば、自分の意志に関係なく隔離され閉鎖病棟に入れられます。食べたいのに、食べられない。人の物を取るなどしたら隔離される。病院の大きな強制力を打破しない限り、安心な病院とは言えません。最後に開発者の言葉が紹介されました。

～対話はとても単純な出来事です。実際あまりに単純なので、私たち自身その単純さがなかなか信じられないくらいです。対話は私たちが人生で最初に学ぶもの、人生の最初の数時間、あるいは数日間で学ぶものです。それなのに、対話はどうやら私たちの仕事の中で、最も難しいもののひとつであるようです～

ヤーコ・セイックラ





# みんなねっと精神科医療への提言

～ 誰もが安心してかかりたいと思える精神科医療の実現 ～

公益社団法人 全国精神保健福祉会

「こころの病気で通院・入院している人たちは、40人に1人の割合で、生涯を通じて5人に1人がこころの病気にもかかると言われています。誰でもかかる可能性のある病気です。」

厚生労働省のホームページより

私たち家族は体験から、精神科医療が国民にとって重要で必要な存在であることを実感しています。誰もが安心してかかりたいと思える精神科医療への期待を込め、提言します。

## 1. 市民のメンタルヘルスケアの充実

- 1) 正しい精神疾患に関する系統的な教育の実施（学校教育・医療関係者への精神疾患・精神障害の教育）
- 2) 相談窓口の整備（早期相談支援体制の構築・24時間365日対応相談窓口の開設・精神保健福祉の専門相談員・訪問サービス実施）

## 2. 精神科医療の一般化の実現

- 1) 人員配置の基準と診療報酬を一般診療科と同等にする（精神科特例の廃止）
- 2) 精神医療審査会の人権擁護機能の充実（必要最小限の行動制限：身体拘束・隔離など）
- 3) 意志決定支援の充実、インフォームドコンセントの徹底、更にはSDM（共同意志決定）の実現

## 3. 薬物治療とともに心理社会的支援が当たり前になる方向への転換

- 1) 本人・家族のもとに届けられる多職種チームによる訪問型支援・治療サービスの充実
- 2) 当事者の尊厳と意見の尊重（対話型医療・支援の充実）
- 3) ピアサポートの充実（ピアによる活動や家族会支援・家族による家族支援）
- 4) 心理社会的リハビリテーションの診療報酬化（家族心理教育、訪問家族支援）

## 4. 当事者の視点を大切にする精神科治療へ

- 1) 薬物療法を受けた本人の意見の尊重と治療・研究への当事者・家族参加の推進 ～薬物療法の改善・創薬へ活かす～
- 2) 身体的ケアの重視 ～身体的健康なくして精神的健康無し
- 3) 診断名による混乱の是正を  
～診断名の伝え方に配慮し診断体系の見直しを

【長期的展望に立ち実現を目指すこと】～入院中心から地域医療への転換を～

1. 一定の地域単位に、メンタルヘルスの責任を持つセンターを設置する  
～地域ネットワークの構築・危機介入を含む訪問サービス実施～
2. 強制的な入院のあり方を問い、医療保護入院の廃止を目指す  
～早期支援・重度化防止・相談支援・訪問支援体制を進め、強制的な入院制度によらずに精神科医療が受けられる体制の実現を目指す～

## 月刊「みんなねっと」の購読を！

全国精神保健福祉会連合会（みんなねっと）は精神障がい者の家族会の全国組織です。国の障がい者福祉・医療の施策制定に委員として参画しています。

年間 3,600 円（賛助会員 会費に購読料含む）

発行者 公益財団法人 全国精神保健福祉会連合会（みんなねっと）

TEL 03-5941-6345 FAX 03-5941-6347

ご希望の方は連絡してください。

## 家族向け交流サイトみんなねっとサロン

～親、子ども、きょうだい、配偶者、パートナー等 ご家族の方限定～

■ご利用方法（無料）

<https://minnanet-salon.net/service> （みんなねっとサロンで検索）

### く 家族による家族のための電話相談

同じ悩みを持つ家族だからこそ

共感できます！

相談日：火曜日・木曜日・金曜日（10：00～  
15：00）面接相談も行っております。

TEL：058-271-8169（祝祭日休み）

携帯：090-6587-9838（精神保健福祉士）

HP <https://gifu-karen.jimdo.com/>



## 会員（家族会員）・賛助会員及びボランティア募集

家族会員は各地区の家族会として、それぞれ募集致しております。

岐阜県精神保健福祉会連合会（ぎふかれん）では、各家族会を会員とした NPO 法人として、家族会のネットワークにより、地域精神医療・福祉の向上を目指しています。

是非、会員や賛助会員になっていただき、ご援助お願いします。

会員：1,000 円/年 賛助会員：個人 1 □ 1,000 円 団体：10,000 円

郵便振替口座：00890-9-123784 □座名：岐阜精保福連

### 【 編 集 後 記 】

「ぎふかれん」67号をお届けすることが出来ました。原稿ありがとうございました。

今後とも努力してまいりますので、会員の皆様応援よろしくお願い申し上げます。

編集担当者一同